

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 木屋瀬 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

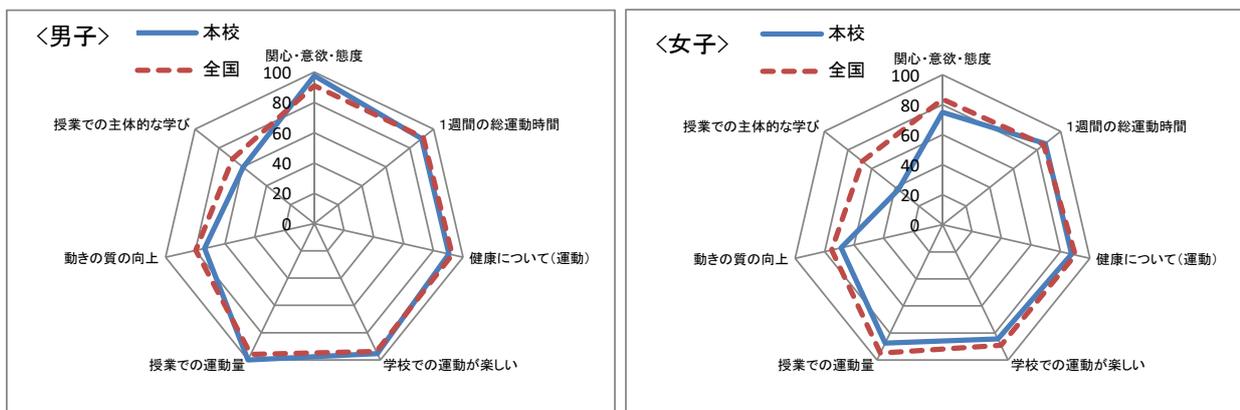
2. 本市における調査内容

- (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

結果より、運動やスポーツが好き(関心・意欲・態度)は、比較的高いと言える。一週間の総運動時間も平均を超えており、運動量も確保できている。
 対して運動における、体の使い方や動かし方、思考力を生かした取り組みに課題があることがわかった。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

今後も、スポーツフェスタ、運動委員会を中心とした運動行事、持久走週間など、児童が主体的に考え、行動する行事を取り入れていく。
 今後も、スポーツフェスタ等の、児童が主体的に考え、行動する行事を計画していき、児童の思考力を育成していく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

本校では、生活がんばりカードを配布して生活及び運動習慣を家庭と学校で共有してきた。
 本校独自の取り組み、子ども達が「考え・計画・実行・振り返り」から創り上げたスポーツフェスタを次年度も実施する。この取り組みの過程を大切に、児童の体育に対する思考力や意欲を育成していきたいと考えている。